**第５回　大刀洗町総合計画策定審議会　議事録**

平成30年11月16日

（１）パブリックコメントの結果報告について

事務局より報告。

（２）答申について

【委員】

　３を前段と後段で分けたい。

前段は行政としての町民との恊働だが、後段は町民主体の話だ。

⇒ ３の前段と後段を分けて。３の後段を４に変更します。

【委員】

１と２の最後で「町を構築していく。」と「町をつくっていくこと。」の使い分けは

何か意図があるのか。

【委員】

　「町をつくっていくこと。」という方が分かりやすくてよいと思う。

　⇒ 表現については「町をつくっていくこと。」に変更します。

【委員】

１の「時流にあった」に違和感がある。「将来を見据えた」「未来を見据えた」と

　いう表現に変えてはどうか。

⇒ 「未来を見据えた」に変更します。

【委員】

　「住民」と「町民」のワードに区別はあるのか。

各項目に必ず「大刀洗町」というワードを入れた方が良い。

【委員】

　言葉として常に大刀洗町を意識できるように大刀洗町で表現するのが良い。

⇒ 「町民」のワードを使用し、各項目に「大刀洗町」を入れるよう変更します。

【委員】

計画が絵に描いた餅にならないように、意識していく必要がある。

そのためにも、何年に一度見直すなど、具体的に表記することで、行政の方も気が

引き締まる。

　　⇒ 第４次の答申時にいただいた意見を参考に、５の項目を加え加筆します。

　【委員】

　　大刀洗町には４つの校区がある。町民は自分たちの校区のことには関心をもってい

ても、他の校区にはあまり関心を示さない、校区を越え町全体にもっと関心をもって

いただけるように、交流なども促していきたい。

【委員】

　校区センター長会議を通じて、センター長からは各校区の情報を入手することが

できるが、関わっていない人はほとんど知らないと思う。

　⇒ ３の後段（４の項目）に、校区を越えた交流という言葉を追記します。

　【委員】

　　順番については、最後に進捗管理の部分をもってきてもらえば、後は（案）の

順番でよいと思う。

【委員】

検証はどのスパンでするのか。行政の場合は担当者が変更になると、計画が風化し

　てしまう可能性がある。出来る限り継続的に検証した方が良いと思う。

⇒ 行政としての検証、見直しは毎年行う予定です。ただ、目標とする数値につい

て統計的な関係で数値が出ない部分もあります。

年に１度は検証をしたいので、どのような形で検証するのか、誰に検証に関わっ

ていただくか検討します。

【委員】

　　ＨＰや広報に掲載する手法で検証の結果を町民にも共有して欲しい。

　　⇒ 検証結果については、広く周知していきます。

　【委員】

　　第５次総合計画については、「わたしができること」が記載されているところが

ポイントだと思う。町民一人ひとりが実際どれだけやれているのか、町民が考える

機会がつくれたらよいと思う。

今回の意見を踏まえて、最終的には田村会長がまとめて町長へ提出する。

（一同 承諾）

（３）校区別構想（案）の報告について

事務局より報告。